



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー (Silver) の「S」とセンター (Center) の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。



第69号

令和6年8月1日

発行

公益社団法人
安曇野シルバー人材センター
住所

安曇野市豊科 4155-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



開催10年目を迎えた、信州安曇野ハーフマラソン

理事長挨拶

理事長 有賀 朝一



この度、ご指名を受けまして、理事長という大役を仰せつかりました。田野尻前理事長の後任として、微力ではありますが、シルバー人材センター発展のために頑張りたいと思います。会員の皆様のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年五月に、新型コロナウイルス位置づけが五類に引き下げられ、中止・縮小されていた、センターの各種事業も、徐々に再開しつつあります。一つ一つの事業を原点に立ち返り、着実に進めてまいりたいと思います。

企業における定年延長に加え、七〇歳までの就業の確保措置が、努力義務となりました。今後、会員の高齢化が、益々進むと予想されます。高齢化に対応した、就業機会の確保に努めていくことが重要な課題です。センターが高齢者の就業機会の受け皿として存在感を発揮していくため、新しい時代に相応した就業機会の確保が不可欠です。

「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」いわゆるフリーランス新法が十一月一日から施行されます。会員の方々も、この法律の対象となるため、契約方法の見直しが必要とされております。会員の皆様には、新たな契約方法への移行について、ご理解をお願いします。そして、令和七年四月から、円滑に移行できるよう積極的に取り組んでまいります。

また、社会のデジタル化の進展に伴い、センター事業におけるデジタル化の推進も、今後の課題であると考えています。時代の変化に対応していくため、ご協力をお願いします。なお、会員へのスマホ教室開催等を、実施していく予定です。会員の就業年齢が年々高くなっている現状において、安全就業に対する取組も重要となっております。私たち高齢者は、年齢とともに身体的・精神的な機能が低下し、労働災害が増加する傾向にあります。昨年、当センターでも重篤な事故（入院一カ月以上）が、二件発生してしまいました。経験豊富な会員も事故に遭いました。慣れた作業にも、隠れた危険が有ります。もう一度初心に戻って、安全作業に努めるようお願いいたします。

最後となりますが、物価高の厳しい経済状況下にあります。シルバー事業の基本理念である「自主・自立・共働・共助」に立ち返って、お客様や地域に愛され信頼されるセンター作りに尽力することを誓い、就任のご挨拶とします。

令和6年度定時総会開催される

当センターの令和6年度定時総会が、5月30日、豊科ふれあいホールで開催されました。

総会には、会員及び役員74人が出席し、本年度の事業計画や予算、昨年度の実績報告、収支決算を審議、承認されました。また役員改選が行われ、理事及び監事の就任について全会一致で承認されました。

また長年会員として、積極的に活動され、シルバー事業発展のため、ご尽力いただいた48人の皆さんが表彰されました。



理事長あいさつ

令和5年度事業報告では、会員数が前年度と比較し25人減の840人、契約金額は、対前年比1.5%減の5億9002万円（請負と派遣の合計額）となりました。

令和2年度より、新型コロナウイルス感染症の影響により、契約実績が減少していましたが、令和5年度は、コロナ感染以前の令和元年度実績を若干上回る状況となりました。

収支決算報告では、各種計算書類や財産目録等について報告され、監事から適正であったとの監査結果が報告されました。

令和6年度事業計画では、地域や高齢者の多様な就業ニーズを的確に捉え、福祉・家事援助分野等の新たな分野への積極的な就業開拓による職域拡大や会員拡大を推進するほか、安全・適正就業の推進、財政基盤の強化や、11月1日から施行となる、フリーランス新法に伴う、契約方法の見直しに対応した、業務のデジタル化への取り組みとして推進する「スマイルトウスマイル」の利用者拡大を目指すことなどが確認されました。

表彰者一覧
おめでとうございます

会員表彰（77歳以上で、過去5年間に100日以上就労し、センターの事業活動に積極的に寄与した方）

氏名	地区名
高山 輝子	豊科
平田 米子	豊科
丸山 倍生	豊科
熊谷 ケサ子	豊科
中澤 和秋	豊科
川村 八十夫	豊科
曾根原 一二三	豊科
北澤 憲次郎	豊科
大久保 圭至	豊科
窪田 博	豊科
細川 潤治	豊科
丸山 高雄	豊科
白井 栄子	豊科
青木 茂美	豊科
両角 幸男	穂高
市河 美智子	穂高
坪田 光訓	穂高
竹内 愛碩	穂高
岡村 和子	穂高
遠藤 文江	穂高
等々力 幸雄	穂高
丸山 清治	穂高
塚田 眞次	穂高

役員表彰（2期以上にわたり役員として、センター事業の発展に寄与し退任された方）

氏名	地区名
田口 修一	穂高
北野 秀行	穂高
小穴 金三郎	三郷
堀内 博之	三郷
宮城 悟	三郷
山口 勲	三郷
塩島 寿子	三郷
白井 光幸	三郷
大月 照子	三郷
中野 吉子	三郷
赤羽 昇	堀金
滑川 清文	堀金
伊佐 壽美	明科

氏名	地区名
田野尻 正	理事
大向 弘明	専務理事
山口 登	理事
小笠原 誠司	職域班長
山口 昇	職域班長
宮澤 利幸	地域班長
中島 悦男	地域班長
宮坂 英文	地域班長
高山 順一	地域班長
青柳 重二	地域班長
矢花 勝	地域班長
矢花 敏明	地域班長



新任理事の就任あいさつ

役員が改選されました

今総会において、任期満了に伴う新たな役員が承認されました。総会を中断して開催された理事会においては、3役をはじめ新たな執行部体制が決まりました。

2期4年に渡り重責を担った田野尻正理事長はじめ、5名の理事が退任、6名の理事が誕生しました。

そして新たな理事長には、豊科の有賀朝一氏が、副理事長には、堀金の松田清志氏がそれぞれ選任され、就任されました。

役職名	氏名	住所	新再
理事長	有賀 朝一	豊科	新任
副理事長	松田 清志	堀金	新任
専務理事 事務局長	赤澤 哲也	三郷	新任
理事	中澤 清香	市役所	新任
理事	丸山 幹雄	豊科	新任
理事	齊藤 澄夫	穂高	再任
理事	松田 惠喜雄	穂高	新任
理事	青柳 等	三郷	再任
理事	藤澤 靖雄	三郷	再任
理事	尾日向 芳雄	堀金	再任
理事	三澤 孝司	明科	新任
理事	小林 真巳	明科	新任
理事	小林 和子	豊科	再任
監事	赤澤 喜夫	豊科	再任
監事	和田 博	穂高	再任

新たな役員のみなさん

退任された役員

理事長	田野尻 正	豊科
専務理事	大向 弘明	三郷
理事	高橋 奈津子	市役所
理事	胡桃 壽明	穂高
理事	山口 登	明科
理事	宮下 定義	明科



退任された役員のみなさん

新顧問が選任されました

令和6年7月22日開催の理事会において、前理事長の田野尻正氏を、顧問に選任いたしました。

令和5年度 事業実績

区分	令和5年度	令和4年度	増減	対前年比	
会員数	840人	865人	△25人	97.1%	
請負	受注件数	3,699件	3,726件	△27件	99.3%
	契約金額	52,817万円	54,416万円	△1,599万円	97.1%
	内訳 公共	9,809万円	9,506万円	303万円	103.2%
	〃 民間事業所	33,646万円	35,228万円	△1,582万円	95.5%
〃 一般家庭等	9,362万円	9,682万円	△320万円	96.7%	
派遣請求額	6,185万円	5,491万円	694万円	112.6%	
総合計(請負+派遣)	59,002万円	59,907万円	△905万円	98.5%	

安曇野玉ねぎ祭りに参加 ドライブスルー方式で開催

就業機会の拡大を目的に、当センター独自事業（シルバ－農園）の一環として玉ねぎ栽培に取り組んでいます。

玉ねぎの収穫を5月下旬から始め、6月15日・16日に開催された安曇野玉ねぎ祭りに当センターも参加。豊科保健センターで販売しました。

今年も、早朝から多くのお客さまが市内外から訪れてくださいました。

今年の玉ねぎは、全体的に小ぶりでしたが、取扱いやすいサイズで、消費者の皆さまにも好評でした。

なお、会員用は6月18日に販売しました。



恒例のドライブスルー
会員による積込サービス

安全適正就業だより

飛石事故が2件発生 事故調査委員会開催

事故が発生した場合には、事故調査委員会を開催し、再発防止に向けた周知活動を行っています。今年度は7月末現在、2件が発生し、既に委員会を開催し、事故原因と再発防止策をとりまとめました。

●事故原因

・ 駐車している車並びに住宅建物と十分な距離をとらずに作業を行った。

・ 飛散防止ネットを使用せず作業を行った。

●再発防止策

・ 駐車車両の移動を徹底する。建物においては、窓ガラスの位置を確認する。飛散防止ネットを必ず使用する。

・ 事前に就業場所の安全確認と状況把握を行い、就業前ミーティングを徹底する。



飛石による破損した
運転席側のガラス

剪定講習会開催

3月2日剪定講習会を剪定に従事している会員を対象として、堀金中学校を会場に、安曇野市豊科造園組合より講師を招き開催しました。

田野尻前理事長、青柳前安全就業委員長のあいさつの後、3班に分かれて「松やイチイ」の剪定実技講習、その後、チェーンソー取扱講習を行いました。

44人の会員さんに参加していただき、役に立つ技術的な情報をおたき有意義な講習会となりました。

また、安全な作業をするための指導もあり、今後の安全就業に役立てていただきたいと思います。



「松」の剪定実技講習会

熱中症に注意を！

今年も猛暑日が多いとの長期予報から、熱中症のリスクが高まっています。室内でも外作業においても、のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給と休憩をとり、事故無く夏を乗り切りましょう。

安曇野シルバ－では会員が医師の診断により熱中症と診断された場合、規定の金額が支払われる、熱中症見舞金制度に加入しています。事案が発生した場合は、お問い合わせください。

蜂刺されに注意を！

夏場は蜂などの有毒昆虫の活動が活発になります。この時期の蜂刺されに十分ご注意ください。

蜂駆除スプレーを、事務局で用意していますので、必要な場合は、お申し出ください。

チェーンソー取扱講習



能登半島地震の被災地へ
義援金を寄託

能登半島地震が1月1月に発生し、甚大な被害が出ました。

当会では少しでも応援するため、3月12、17日に行われた地区懇談会時に会員から募金を募り、総額は44,608円となりました。3月26日に安曇野市社会福祉協議会へ出向き、田野尻前理事長より小松社協会長へ募金を預けました。

田野尻前理事長は「懇談会出席会員187名の気持ちです。少しでもお役に立てればと思いますお届けした」と義援金を託し、小松会長からは「大変ありがたい。県社協を通じて能登半島で被災された皆さんに届ける」とのお話をいただきました。



小松社協会長へ
田野尻前理事長(右)より寄託

こども食堂へ玉ねぎを寄贈

7月4日に、地域のこども食堂の活動を応援するため、シルバ－農園で収穫した玉ねぎを寄贈しました。

有賀理事長が「Cocoroカフェ」の事務局が在る、安曇野市社会福祉協議会を訪問し、玉ねぎ100kgを届けました。こども食堂を運営する黒岩委員長からは「3年連続の寄付、大変ありがたく活用させていただきます」とのお話がありました。



有賀理事長へ
黒岩委員長(右)より寄贈

職員の異動

退職(3月31日付)

事務局長

大向 弘明

豊科地域業務担当

竹内 幾久夫

穂高地域業務担当

蓮井 昭夫

派遣業務担当

中澤 章盛

採用(4月1日付)

事務局長

赤澤 哲也

豊科地域業務担当

西沢 剛

穂高地域業務担当

古幡 彰

派遣業務担当

秋山由美子

新職員の紹介



赤澤 哲也

この度、専務理事・事務局長という大役を担うこととなりました赤澤哲也と申します。

シルバ－人材センターの業務について、まだまだ分からないことばかりですが、会員皆様方のご指導を頂き、努めて参りたいと思っております、よろしくお願いたします。



西沢 剛

人間は、横を向いて生きています。人が、雑草はつねに上を向いて生きています。

うつむいている雑草など見たことがありません。四葉のクローバーは、生長点が傷つくことによって生まれるのだそうです。確かに道端や公園などよく踏まれるところで見つけます。幸せのシンボルは、お花畑の中でなく、踏まれて育つということなのでしょう。豊科地区担当の西沢 剛と申します。「土手の芝、人に踏まれて一度は枯れる 露の情けでよみがえる」 会員皆様のご支援、ご協力をいただきますが、粘り強く努めさせていただきますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。(ちなみに、私は褒められて伸びるタイプです)



古幡 彰

この4月から穂高地域の業務担当としてお世話になっております古幡と申します。就任



秋山由美子

して、約4か月が経過し、徐々にではありませんが、会員の皆様のお名前とお顔が一致するようになってまいりました。3月までは、安曇野市役所のスポーツ推進課にお世話になっておりましたので、グラウンド周辺の草刈りや、除草剤散布など、様々な仕事をお願いする立場でしたが、業務担当となった現在では、業務量の多さはもちろんですが、利用者からの多岐に渡る要望に応える会員の皆様の知識と熱量を改めて感じております。まだまだ不慣れではありますが、会員の皆様の共働・共助を基本とした連帯意識と、親睦を基調とした安全な作業の遂行に、少しでも寄与できればと考えております。

4月から派遣担当でお世話になっていらっしゃる秋山と申します。長年、庭木の剪定でお世話になってきたシルバ－人材センターで私自身が働くことになり、また私のように何年も利用していただいている利用者さんが多数いることに驚きました。派遣会員さんの勤務実績の入力、契約書の作成が主な業務ですが、時には企業の求人に応じて会員さんや説明会に来てくださった方々にお声掛けもします。なかなか契約に至らない時があり、橋渡しの難しさをひしひしと感じています。慣れないことばかりですが、様には多々ご迷惑をおかけしていますが、この仕事を通して自分も成長できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

会員の声

きっかけは主人の一言

三郷 閑蔵 啓子



きっかけは、主人の一言でした。シルバ－人材の説明会に行つてみないか？

十年以上働いていたところが「コロナ」以後仕事がなくなり、少し身体が重くなつてきていました。

会員説明会を聞き、担当の方からすぐに仕事を紹介していただき驚きました。

その日から二ヶ月で仕事に就くことが出来たのです。

今まで経験したことのない内容ではありますが、職場の方々には親切に教えていただいています。

毎日少し頭と体を使い、長く勤められるように健康でいたいと思っております。

もう散歩に行かなくても十分歩数は稼げているはずです。

シルバ－と老人力

穂高 星野 茂樹



赤瀬川原平が「老人力」を発見？してから三十年経ちました。

まだ中年だった自分は「ハハハ、面白い冗談だな」と聞き流していました。

たが、歳を取るにつれだんだん身につまされて来て、近頃は、老化を嘆かず「よっしゃ！老人力が付いてきた」と自己肯定したいものだと考えるようになりました。

医療や年金など福祉の費用を巡つて世代間対立を煽り、老人を悪者視する、実に世知辛い風潮さえ有りますが、こういう時世にこそ老人力自慢が有効と思います。

効率・金儲け第一主義とは一味違う、老人力豊かな働き方をシルバ－の場でも実現してみたいものです。

諸兄姉のご示唆を待ちます。

事務局より

配分金・派遣給与振込日

配分金	派遣給与
8月分 8月20日(火)	30日(金)
9月分 9月20日(金)	30日(月)
10月分 10月18日(金)	31日(木)
11月分 11月20日(水)	29日(金)
12月分 12月20日(金)	27日(金)

就業報告書の提出は早めに！

締め切り(翌月5営業日)までに提出されませんと、配分金支払いが1ヶ月遅れます。

Smile to Smileのお知らせ

会員WEBサイト「Smile to Smile」の導入にあたりご協力を頂きありがとうございます。全会員の35%に当たる約300名にご登録頂いております。4月就業分よりの配分金明細書はアプリにて確認できます。また、お知らせ内において、求人情報や、事務局からのお知らせなどを、随時掲載しております。今後は個別の就業依頼なども配信していく予定としています。

お悔やみ申し上げます

高橋 公一様 小松福次郎様
山田 幸久様 川井 良栄様
ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

◆令和6年度の安曇野シルバ－人材センターの定時総会が5月30日に功労者の方々の出席、来賓のあいさつ、表彰される方々退任される方のあいさつ、コロナ禍以前のように盛大に行われた。

少子高齢化や人口減少の中で、地域を支える担い手としてのシルバ－人材センターの果たす役割はますます重要になってきていることを確認した。

現役社会の労働力不足は高齢に進み、我がセンターにも影響が出始め、会員数の伸び悩みに苦慮しているようです。種々の手段を使い、人材確保も進めなければならないし、後期高齢者向けの仕事の発掘も必要になっていく。

昨年からは始まったインボイス制度フリーランス新法は事務局にお任せし、アナログからデジタル化は否応なしに進んで来ている。今、始めたスマイルトウスマイルの活用化が先決課題でもある。高齢者には酷な事だが、みんなが助け合つて進めざるをえない。今年も安全就業に勤め、事故の無い平穏な年度であつてほしい。

総務・調査広報部会

藤澤 靖雄、小林 和子、
齊藤 澄夫、三澤 孝司
中澤 清香